

香取市災害復興会議 第1回会議概要

日 時 平成23年8月3日(水) 午後3時30分から5時45分

場 所 香取市役所 7階 全員協議会室

出席者 16人(代理含む) 欠席1人

岸井隆幸 前田正博 野口晴男 堀井啓(代理) 浅野文男(代理)
柏木幹雄 高岡宏基(代理) 城之内義雄 大槻忠雄 亀谷秀夫(代理)
飯田教久 松井健一 花澤 栄 尾形忠志 根本由美子
鈴木恵子(敬称略)

1 開会

2 委嘱状交付 八木副市長より委嘱状の交付

3 あいさつ 八木副市長

4 委員紹介 第1回会議の開催にあたり、委員、事務局の自己紹介を行った。

5 議事

(1) 議長・副議長の選出について

議 長：岸井隆幸委員が選出された。

副議長：尾形忠志委員が選出された。

(2) 香取市の被災状況について

(3) 香取市震災復旧・復興基本方針について

(4) 香取市災害復興計画策定方針について

(5) 香取市災害復興計画策定スケジュールについて

(6) 香取市の被災状況・対応状況と課題について

(7) 香取市災害復興計画骨子案について

(8) その他

○東日本大震災にかかる国・県の主な動き

○市民アンケート速報(中間報告)

【会議での意見等】

○議長

市民アンケートが39.7%は高い回答率。多くの人が関心を寄せていると思われる。

○ 独居老人、障害者等社会的弱者に対する災害時の安全確保の仕組みづくりを含めたい。

○ ホウレンソウが出荷制限されているにもかかわらず出荷されてしまったことを踏まえ、米について同様の問題が生じないように、農協、業者は厳しい検査をする予定である。行政も広告、広報等協力をお願いしたい。

- 震災の復興に合わせ、長期的な観光振興や農業振興など、香取市の課題をかみ合わせながらの議論が必要。外部からの情報をできるだけ提供していきたい。
- 水生植物園は被害が大きく、あやめ祭り期間中の入込数が前年比 67%ということだが、市と協力し開園することができてよかった。
佐原の町並みはまだ観光客が戻ってこない。佐原商工会議所と協力しPR活動を予定。
- アンケート結果によると、震災時の市の初期対応・応急対応について 50%以上がおおむね対応できていたと評価。対して市民が防災訓練等の実施・参加についての意識が 3.6%と低い数字になっているなど、市民も災害について意識を持つことが必要。
これから復興イベント等を考えているが、アンケート結果によると復興イベントについては重要度が低いようなので、市民対談等で意見を聞きたい。
- 年内に予定されているイベントはすべて実行する考え。口コミで観光客が増えてくれればと思っている。液状化対策についての検討が必要。
- 震災によりパイプラインが破損した地域について、どのようにすればよいかという情報がなく混乱した。液状化被害を受けた家の改修、建て替えについて、行政から工法などの方向性を示してもらえれば、個人の判断材料となるのではないかと。
- 自分も新島地区で稲作をしているのだが、パイプラインなどの農業関連施設の復旧情報が遅かった。情報を早めに発信できる体制整備が必要。
- 市営住宅の重要性を見直し、整備を検討してはいかがか。液状化した住宅等の建て替えは二重ローン等の問題もあり深刻である。自営業の経営者への融資制度が不十分。放射能測定器にも様々な種類があるが、市の測定器の精度は？
- 被災住宅、特に液状化被害の住宅の場合、補修の仕方やコストが不透明。情報があれば公開してほしい。
- 「水の駅さわら」から、船で小野川沿いの佐原の町並みまで行くルートは、人気の観光コースであったが被害を受けた。復旧は今まで以上の町並みにする意気込みで。
兵庫県豊岡市ではコウノトリの生息地で、米のブランド化などコウノトリを利用してまちづくりをしている。香取市の周辺にもコウノトリが飛来しているのが確認されており、今後のまちづくりの一つの目玉になるのではないかと。
- 災害復興計画と市の総合計画との関係はどのようになるのか。

(事務局) 災害復興計画は 23 年度から 29 年度までの計画で、市の総合計画は 20 年度から 29 年度までの計画となっているのだが、両計画は途中から徐々に重なり、一

体となっていくと考える。

- 学校の耐震化工事等が終了していないため被害を受けた学校もあるが、子供たちに怪我が無かったことは良かった。
- 液状化による住宅の被害、農業の風評被害、水道等ライフラインの問題等、被害は広範にわたっているというのがわかる。これをどう復興していくか非常に大変な仕事だ。
- 被害は広範囲で、市民の要望は多岐にわたると思うが、重要度の高いものやスピードが必要なものから取り組んでいくことが重要。その際、市民を納得させる準備が大切。

○議長

まとめとして、復興は単に元に戻すのではなく、これまでの課題も解決し、より一段高みを目指す意思を持つことが重要。

資金や人の労力には限界があるのだからメリハリをもって投入することや、行政、市民の役割分担についての検討が必要。

防災体制の課題から、公共施設の耐震化を早急にやらなければならないこと、情報システムをより高いレベルで構築する必要がある。

香取市は利根川沿いに位置し、液状化はこれからも起きる可能性がある。このことをどんな分野でも受け止めて、強いまちを維持できるシステムを作りあげられればと思う。併せて、自ずとやってくる高齢化社会で人口が減少することを踏まえ、今後どうやって我々は住むのかということを実際に考えなければいけない。

6 その他 なし

7 閉会